

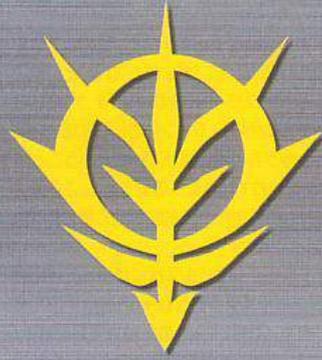
MG
MASTER GRADE

サンライズ
0143418

SHIN GYAN COMBAT MOBILE SUIT PROTON S



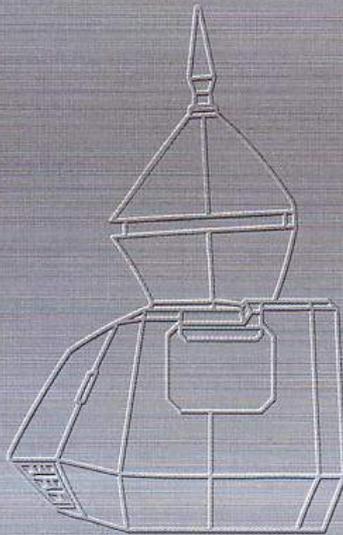
**BAN
DAI**



MOBILE SUIT
YMS-15

GYAN

PRINCIPALITY OF ZEON
PROTOTYPE
CLOSE-COMBAT MOBILE SUIT



ジオン公国軍
試作型白兵戦用モビルスーツ
YMS-15「ギャン」
1/100スケール
マスターグレードモデル

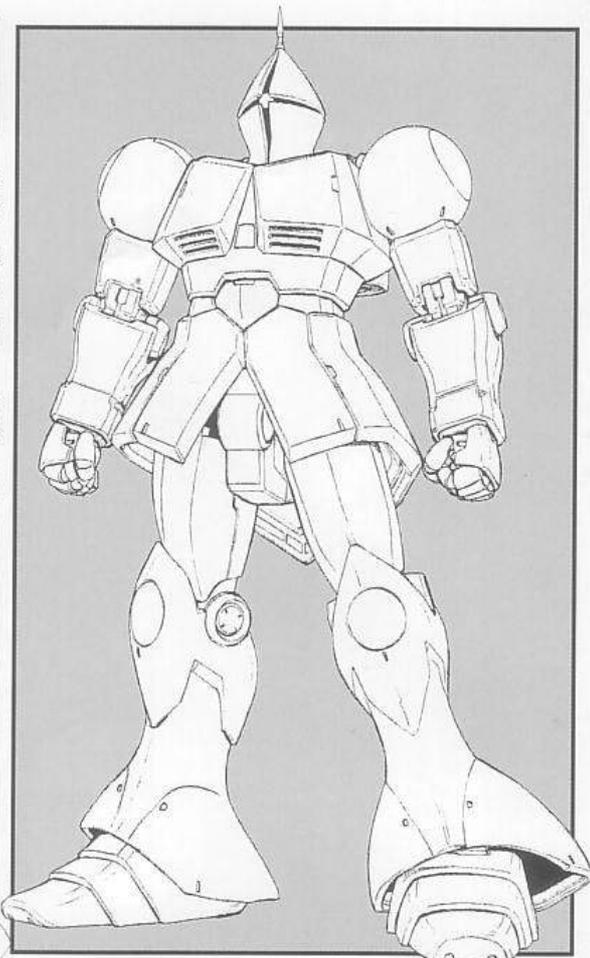
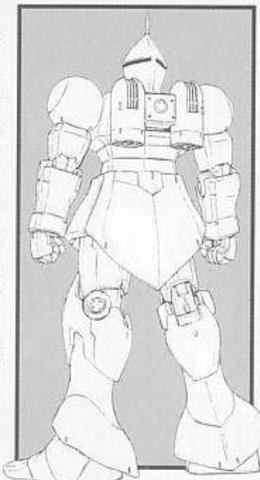


YMS-15 GYAN

「ガン」は、一年戦争後期に公国軍が推進した「第二期主力MS開発計画」に基づいてツィマト社が開発していたMSである。この機体は元々MS-X10として開発されており、地球連邦軍のRX系MS(特に「ガンダム」など)との戦闘を想定した高度の白兵戦能力を持っていた。しかし、ジオニック社が開発していたYMS-14(後のMS-14 ゲルググ)に対して空間戦闘能力や汎用性、加えてビーム・ライフルのドライブができず、コンペティションにおいては総合性能で勝るゲルググが制式採用されることとなった。ただし、これをもってガンがゲルググに劣っていたということではなく、機体の運動性、いわば「基礎性能」に関してはゲルググを上回っていたとされているのも事実である。この機体は四肢の駆動レスポンスを向上させることを目的とした特殊な装備が試験的に採用され、技術的には他に例を見ないコンセプトが導入されている。それが「流体パルスアクセラレーター」である。

公国軍系MSに採用されているアクチュエーターは、反応炉で発生するエネルギーをパルス状に変換して極超音速で各部に伝達する「流体パルスモーター」システムが採用されている。流体パルスアクセラレーターは、炉内で発生する余剰圧力をプーし、必要に応じて取り出すというものである。つまり、公国軍系MSの主動力伝達経路は、基本的にフェイルセーフを含む一系統のみであるものが、あたかもジェネレーターを増設したかのように複数の経路を増設できるもので、いわば、アクチュエーターのコンデンサー、またはプースターとも呼べる機構である。YMS-15は、股関節にそのためのデバイスユニットを装備しており、脚部のレスポンスとトルクが劇的に向上している。これは、重力下で「飛翔」するかのとき挙動を見せたガンダムの跳躍能力に対抗するための試行錯誤のひとつであった。また、全身を伸縮させつつ、頻繁に前進後退を繰り返す、あたかもフェンシングのようなステップワークもまた、この機構を装備していなければ不可能だったといえるだろう。通常、ビーム・サーベルは「薙ぐ」ように斬る挙動で使用されることが多いが、「突く」使用法も同様に有効であり、この機体が装備する専用ビーム・サーベルは、特に貫通力が強化されている。まさしく、ガンダムが「擬人化」を目的としていたように、MSを人間の身体の延長であるとする概念が公国軍系の技術者たちの中にも浸透していたことが伺える。

実際に建造されたガンのうち一機は、突撃機動軍所属のマ・クベ大佐の乗機となるべく彼のためにカスタマイズされたと言われている。本機はテキサス・コロニーにおいて実戦に投入され、ガンダムによって撃破されたと言う説や、ア・バオア・クー戦で失われた説、グラナダの残存艦隊によってアクシズまで運ばれたという説などがあり、詳細は不明である。



Conceptual illustration : Katoki Hajime

YMS-15 GYAN

①モノアイカメラ	⑦コクピットハッチ	⑬流体パルスアクセラレーター	⑲ニージョイントアーマー	⑲ヒルト
②ロッドアンテナ	⑧マルチブルダクト/インターク	⑭フロントスカートアーマー	⑳ニージョイント	⑳ボンモウ
③ショルダージョイントアーマー	⑨エルボージョイント	⑮サイドスカートアーマー	㉑レッグスカートアーマー	㉑ミサイル・シールド
④ラジエーションユニット	⑩メンテナンスハッチ	⑯リアスカートアーマー	㉒マルチプルセンサーアレイ	㉒ハイドポンプ・ディスチャージャー
⑤熱核ジェット/ロケットユニット	⑪マニピュレーター	⑰マウントラッチベース	㉓ビーム・サーベル	㉓ミサイル・ランチャー
⑥ランドセル	⑫インターク	⑱メインスラスタ	㉔ガード	㉔ハイドポンプ

注) YMS-15 ガンは、U.C.0079年の一年戦争末期、YMS-14 ゲルググとのコンペティションを経て、試作された機体の一つはマ・クベ大佐用にカスタマイズされた後、実戦で運用されたと言われている。そのため、厳密に言えば型式番号は「YMS-15」なのだが、量産モデルが存在しないため、便宜上「MS-15」と表記されることもあり、これも決して誤りではない。

注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。
- 接着剤は、閉め切った室内では使用しないでください。中毒になる危険があります。

《電池を誤使用すると発熱・破裂・液漏れの恐れがあります。下記に注意してください。》

- 万一、電池から漏れた液が目に入った時は、すぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。ひびや服に付いた時は水で洗ってください。
- ボタン電池はなめたり、口の中に入れてたりしないでください。
- +（プラスマイナス）を正しくセットしてください。
- 遊んだ後は必ずスイッチを切り、電池をはずしてください。
- ショートさせたり、充電、分解、加熱、火の中に入れてたりしないでください。

〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- 組み立ての一部に接着剤を使用する箇所があります。

※このキットには、接着剤は入っておりません。プラスチックモデル専用接着剤を別にお買い求めください。
 ※このキットの組み立てには+（プラス）ドライバーを使いますので別にご用意ください。



・接着をするところ



・シールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・向きに注意して取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・切り取る場所



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます

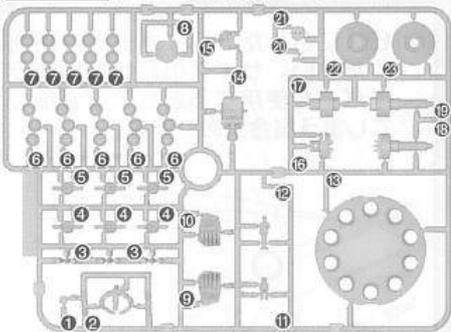


・どちらかを選んで取り付ける

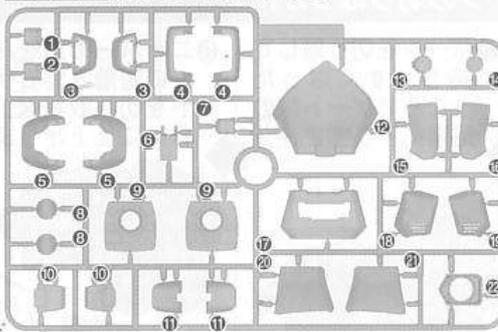
パーツリスト

(X印は使用しないパーツです。)

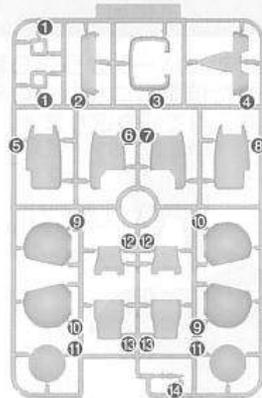
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



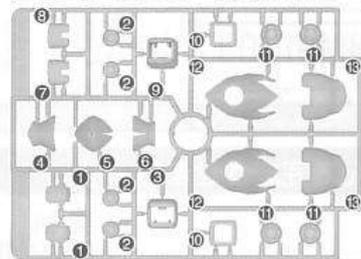
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



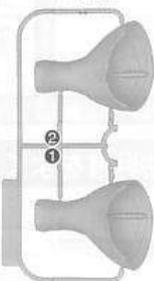
Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



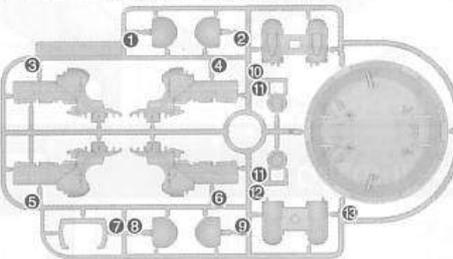
Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



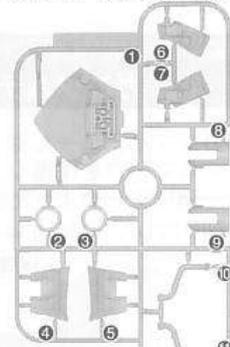
Eパーツ (スチロール樹脂: PS)



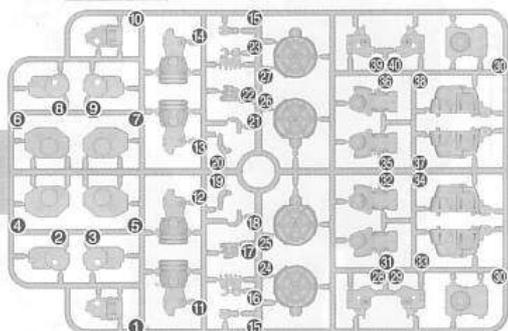
Fパーツ (スチロール樹脂: PS)



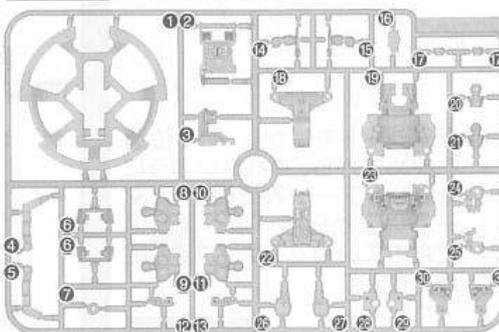
Gパーツ (スチロール樹脂: PS)



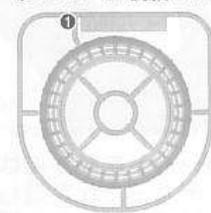
Hパーツ (ABS樹脂: ABS)



Iパーツ (ABS樹脂: ABS)



Jパーツ (スチロール樹脂: PS)



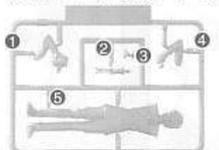
Kパーツ (スチロール樹脂: PS)



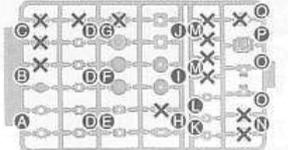
Lパーツ (スチロール樹脂: PS)



Mパーツ (スチロール樹脂: PS)



〈PC-126プラス〉 (ポリエチレン: PE)



発光ダイオード



金具1

金具2

マーキングシール……1枚 ガンダムデカール……1枚 ビス………1本

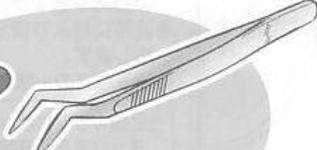
組み立て前の基本説明

必要な道具

〈ニッパー(プラスチック用)〉
・パーツをランナーから切りはなしてゲートを取るのに使います。



〈ピンセット〉
・小さい部品を取り付けたりシールを貼るのに便利。



〈はさみ〉
・ガンダムデカールを切りはなす際に使用します。



〈+ (プラス) ドライバー〉
・ビスを締める際に使用します。



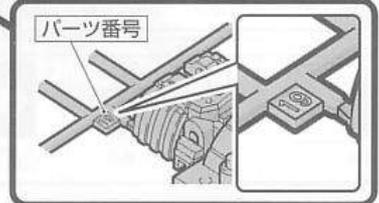
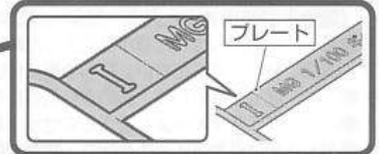
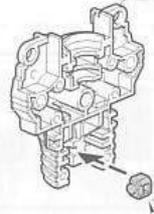
※この商品に道具類は入っていませんので、別にご用意ください。

説明書の見かた。

説明書のパーツに書いてある番号と同じものをランナーから探しましょう。(パーツリスト表と合わせて見ると、探しやすいでしょう。)

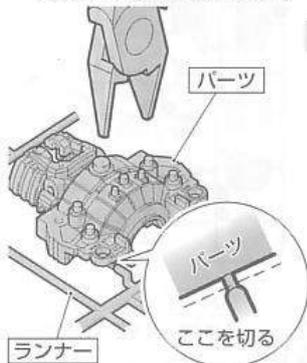
1 胸部の組立

(1) BODY UNIT

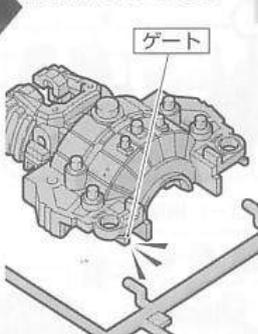


パーツの切り取りかた。

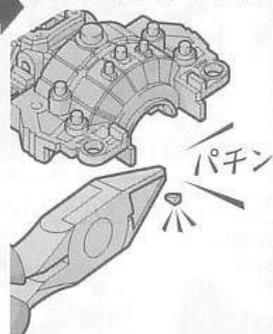
①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。

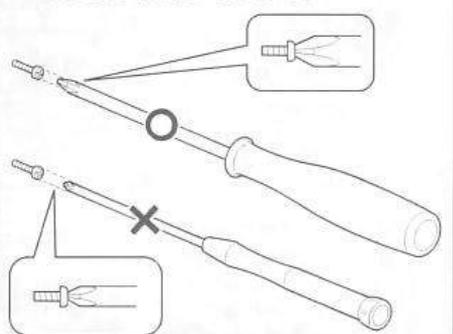


③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



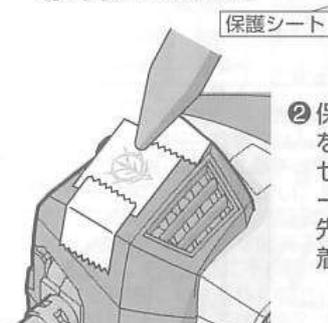
ドライバーの選び方

※ビスに合ったドライバーをご使用ください。サイズの合わないドライバーを使用するとビスを破損してしまう場合があります。



ガンダムデカールの貼りかた。

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。



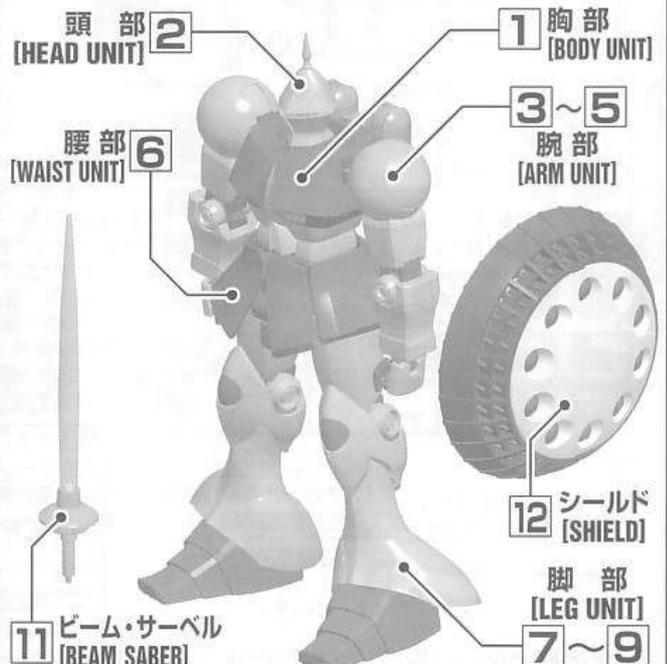
②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。



③シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

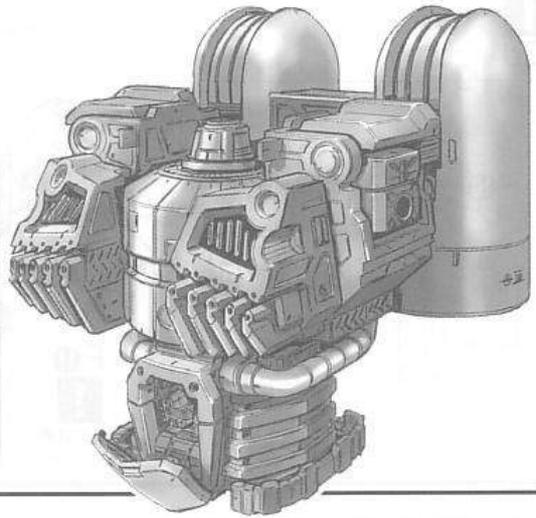
説明書をよく読んで完成させましょう。



BODY UNIT 〔胸部〕

ギャンのボディユニットは、ドムやゲルググを踏襲したブロック構造に加え、連邦軍製MSのボディレイアウトを参考としている。背部のランドセルは、姿勢制御やチャージ時のブースターとしても使用可能である。だが、空間戦能力はザクIIを多少上回るレベルでしかなかったようだ。

ギャンの開発メーカーはツィマツ社ではあるが、この時期の公国系の機体開発は技術交流がなれば強制されており、技術やマンパワーが総動員されていたため、厳密な分類はかなり困難であることも事実である。また、ギャンの原型となった機体は、元々ザクとの競合機であったという説も浮上しており、系譜が特定しにくい機体であると言える。ただし、基礎フレームはゲルググと共用されているか、あるいはそのプロトタイプを流用している可能性が最も高いことは言うまでもない。ギャンとゲルググとの決定的な違いは、ジェネレーターの出力以外には流体バルスアクセラレーター用の分岐パワーサプライヤー回路の有無のみだという説もある。



【部品表】
PARTS LIST

【基本説明】
HOW TO

【胸部】**1**
BODY UNIT

【頭部】**2**
HEAD UNIT

【腕部】**3 4 5**
ARM UNIT

【腰部】**6**
WAIST UNIT

【脚部】**7 8 9**
LEG UNIT

【本体の完成】**10**
FINAL ASSEMBLE

【武器】**11 12**
WEAPONS

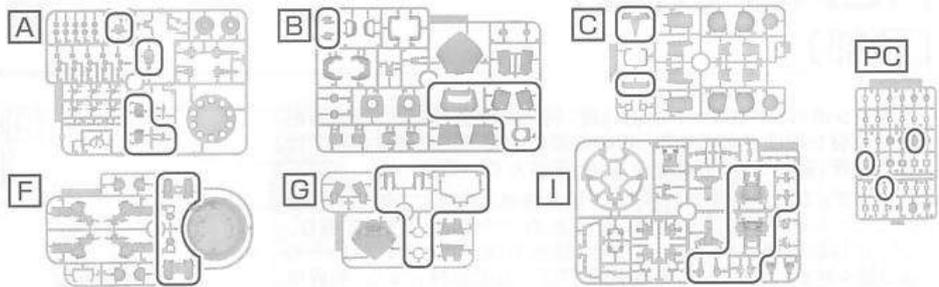
【武器の装備】**13**
WEAPONS EQUIPMENT

【シール】
SEAL

1 BODY UNIT

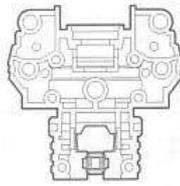
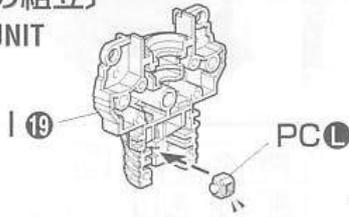


・組立**1**で使用するパーツ

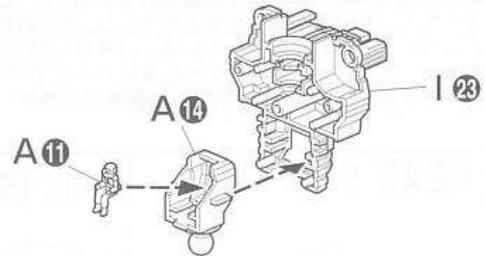


1 〔胸部の組立〕

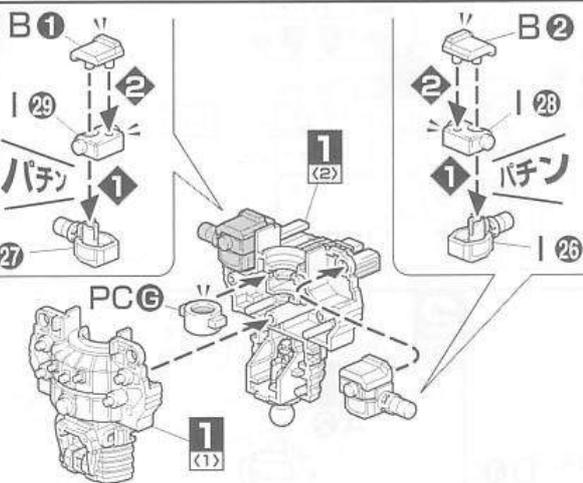
〔1〕 BODY UNIT



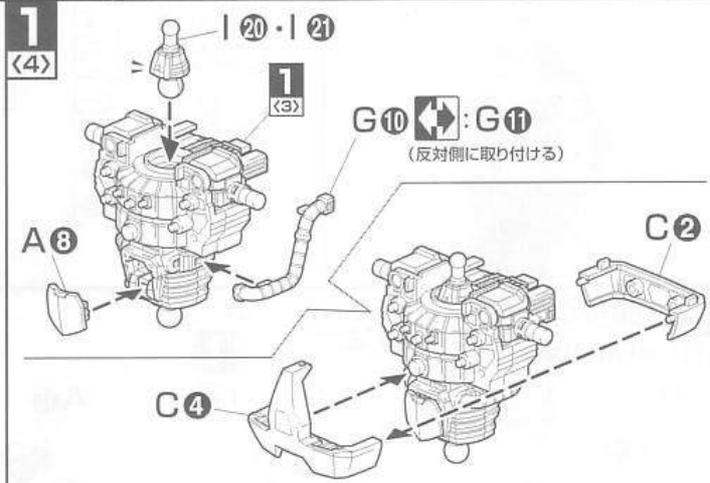
〔2〕



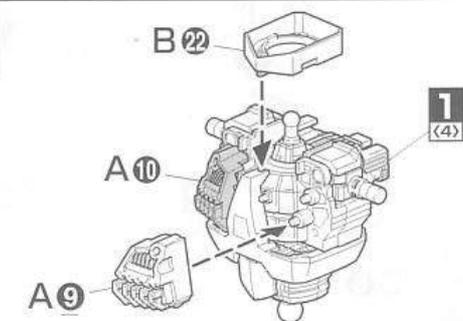
〔3〕



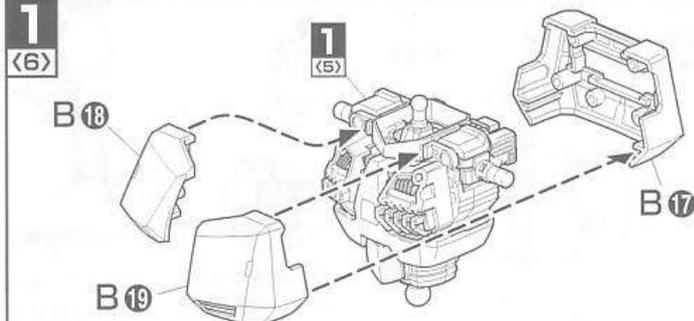
〔4〕



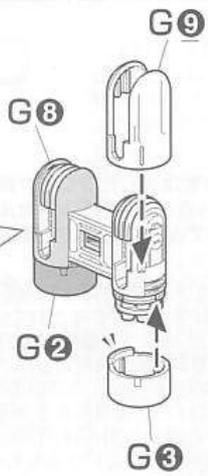
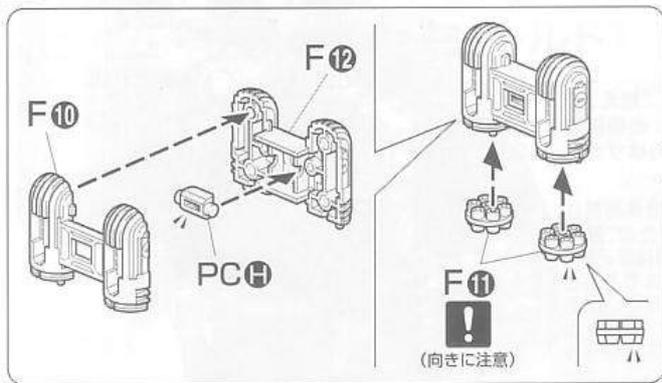
〔5〕



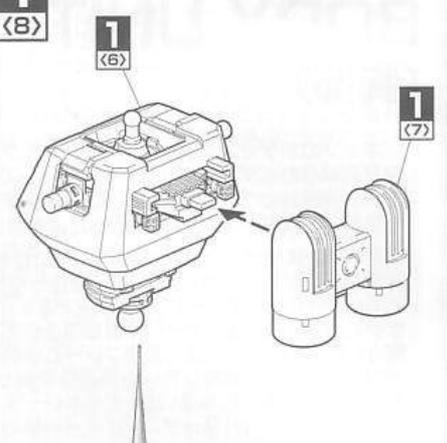
〔6〕



1
(7)



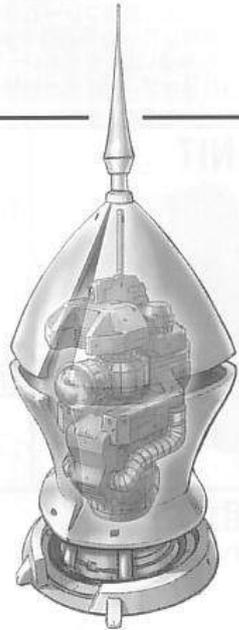
1
(8)



HEAD UNIT 〔頭部〕

ギャンのヘッドユニットは白兵戦、特に格闘戦に対応すべく、形状や部材が配置されている。この時期に開発された機体の中では、ある意味、最もソリッドなシルエットを備えている。

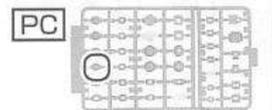
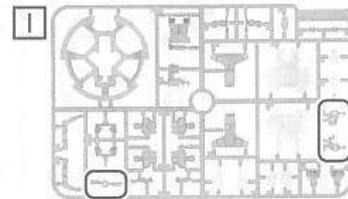
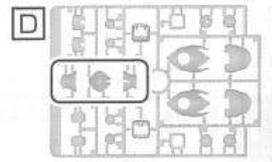
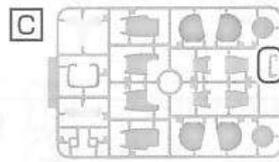
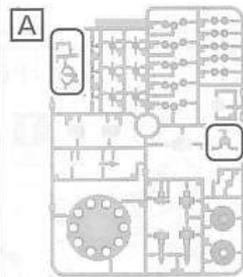
モノアイなどの基礎デバイスは、他の機体と同様グラモニカ社製のユニットを使用しているが、その軌道はナロー化されており、レール移動の速度が向上している。防御力向上のため、スリットもより狭く作られているが、映像処理フレームの改善により、視界はむしろ既存の機体より広く確保されている。さらに、敵機と斬り結ぶ斬撃などの応酬になった場合を想定し、後方視界もメインカメラによってフォロー可能としている。内装品に特に目新しいものはないが、メインジェネレーターと流体パルスアクセラレーターのコンダクターが増設され、双方の協調稼働を制御している。



2 HEAD UNIT



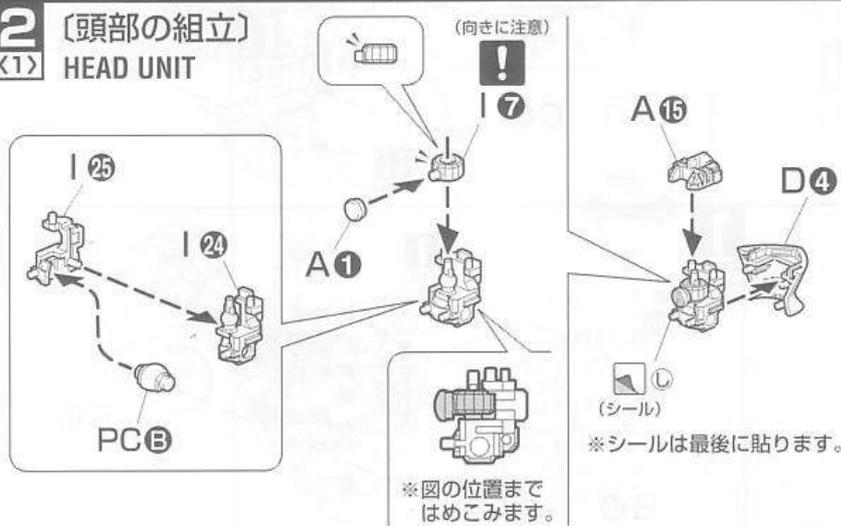
・組立2で使用するパーツ



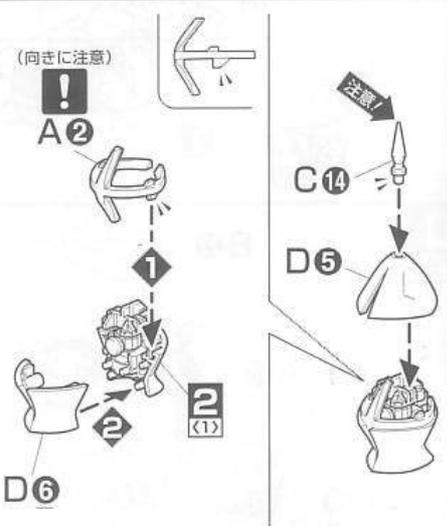
マーキングシール

2 〔頭部の組立〕 HEAD UNIT

(1)



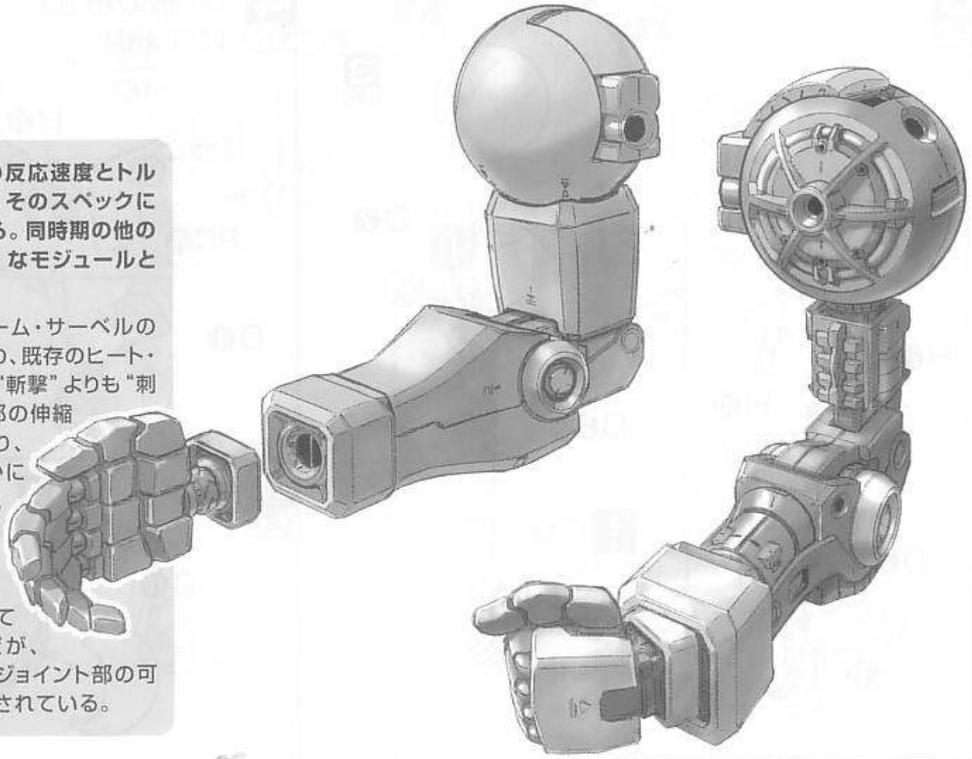
2
(2)



ARM UNIT 〔腕部〕

ギャンの腕部モジュールは、その反応速度とトルクが限界まで改善されているほか、そのスペックに対応して可動範囲も拡大されている。同時期の他の機体と比較して、最も“フィジカル”なモジュールとなっている。

ギャンの腕部ユニットは、専用ビーム・サーベルの運用を前提に調整されている。つまり、既存のヒート・ホークやヒート・サーベルと異なり、“斬撃”よりも“刺突”を重視している。そのため、腕部の伸縮レスポンスは屈指のスペックを誇り、ギャンを上回る機体はこの時期ほかには存在しないとまでいわれている。また一軸あたりの可動範囲も拡大されており、より人体に近い挙動が可能となっている。マニピュレーターユニットは、ザクなどに装備されているものと機能的にはほぼ同等だが、格闘戦を想定しているため、リストジョイント部の可動範囲が拡大し、レスポンスも改善されている。



〔部品表〕
PARTS LIST

〔基本説明〕
HOW TO

〔胸部〕1
BODY UNIT

〔頭部〕2
HEAD UNIT

〔腕部〕3 4 5
ARM UNIT

〔腰部〕6
WAIST UNIT

〔脚部〕7 8 9
LEG UNIT

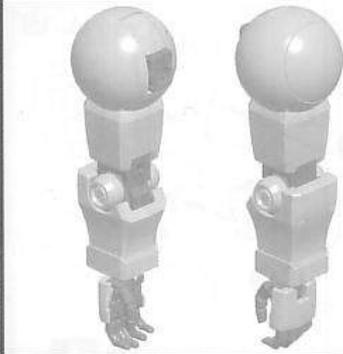
〔本体の完成〕10
FINAL ASSEMBLE

〔武器〕11 12
WEAPONS

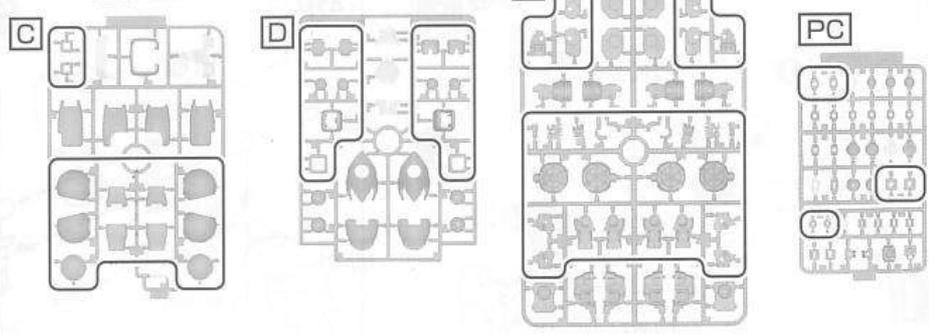
〔武器の装備〕13
WEAPONS EQUIPMENT

〔シール〕
SEAL

3 4 5 ARM UNIT

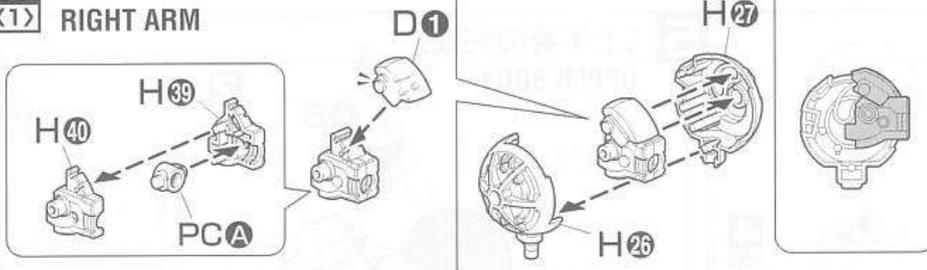


・組立 3・4・5 で使用するパーツ



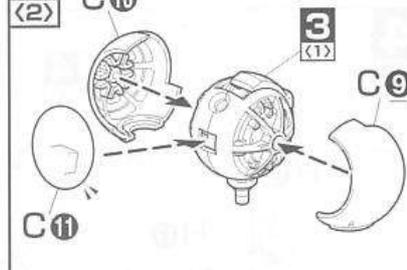
3 〔右腕の組立〕

〔1〕 RIGHT ARM



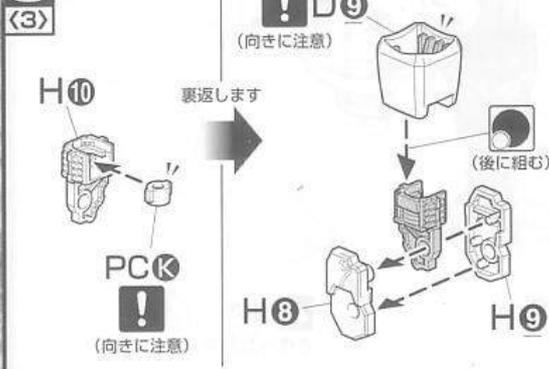
3

〔2〕



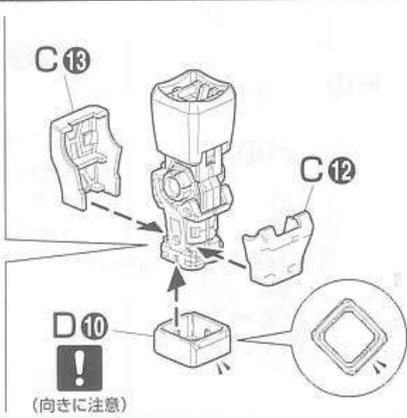
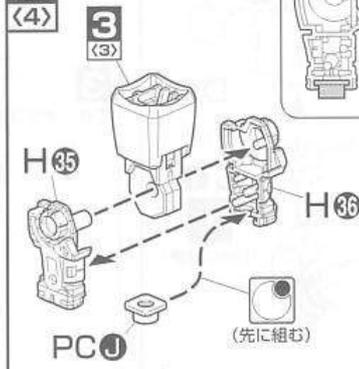
3

〔3〕



3

〔4〕



〔部品表〕
PARTS LIST

〔基本説明〕
HOW TO

〔胸部〕
BODY UNIT

〔頭部〕
HEAD UNIT

〔腕部〕
ARM UNIT

〔腰部〕
WAIST UNIT

〔脚部〕
LEG UNIT

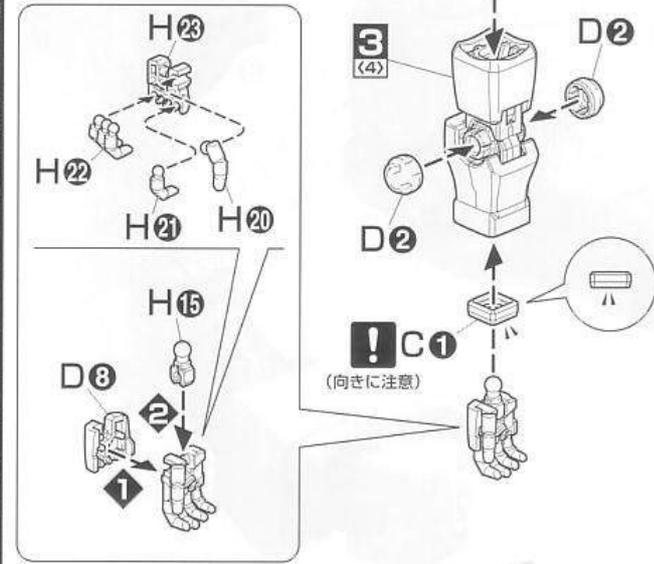
〔本体の完成〕
FINAL ASSEMBLE

〔武器〕
WEAPONS

〔武器の装備〕
WEAPONS EQUIPMENT

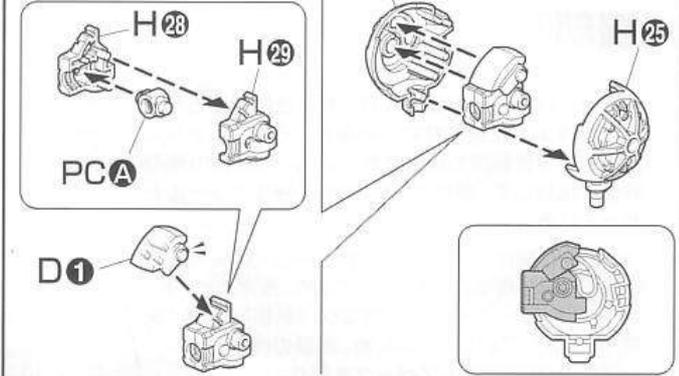
〔シール〕
SEAL

3
(5)

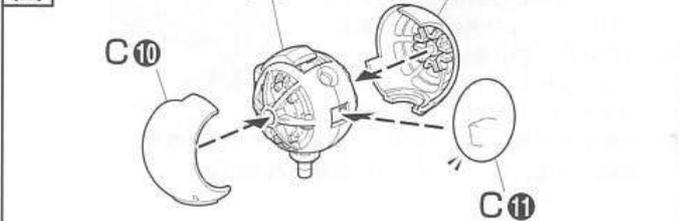


4 〔左腕の組立〕

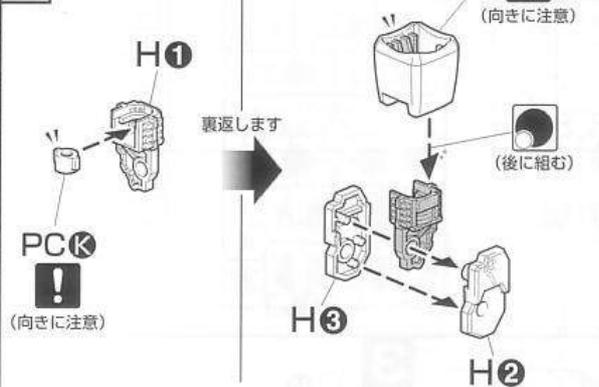
4 (1) LEFT ARM



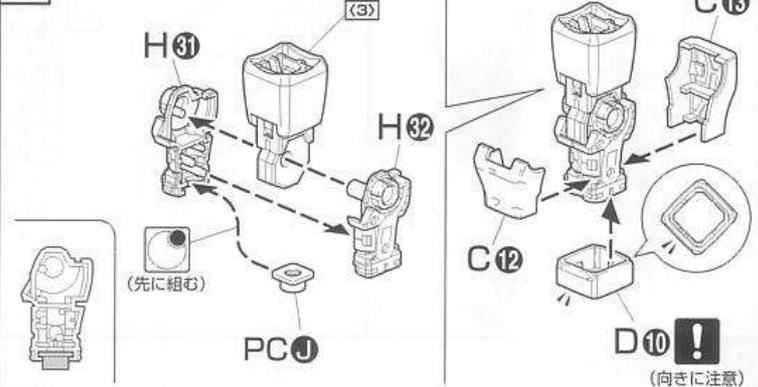
4
(2)



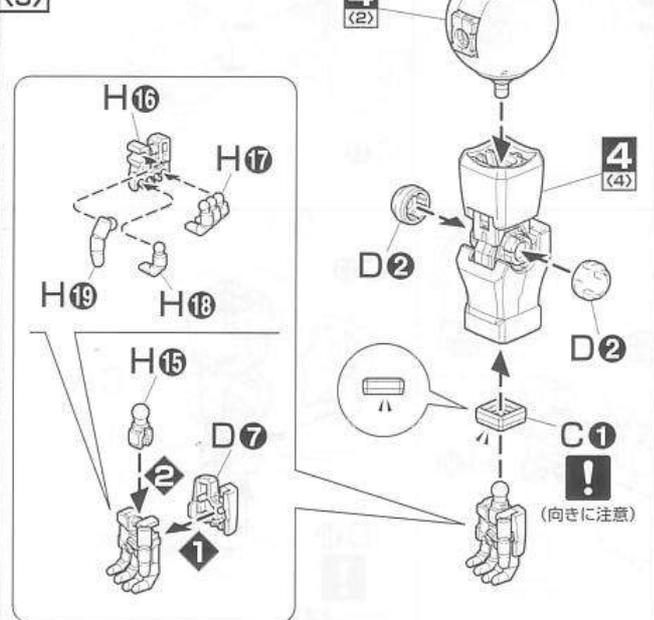
4
(3)



4
(4)

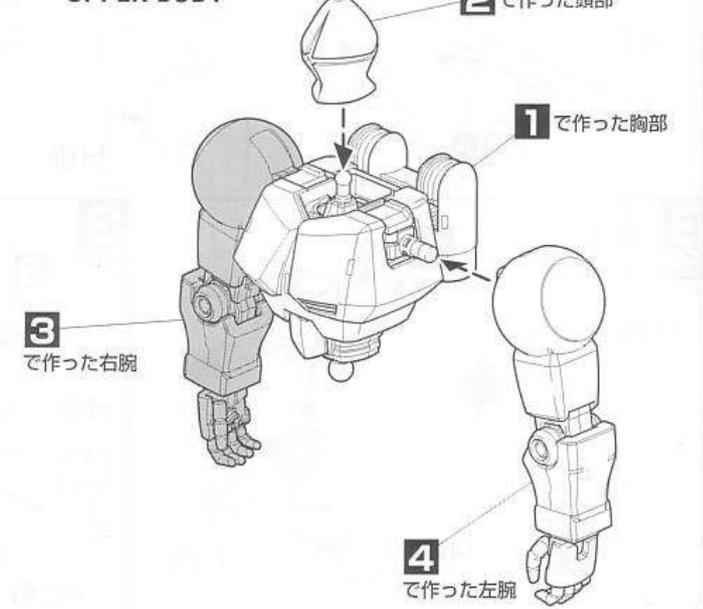


4
(5)



5 〔上半身の完成〕

5 UPPER BODY

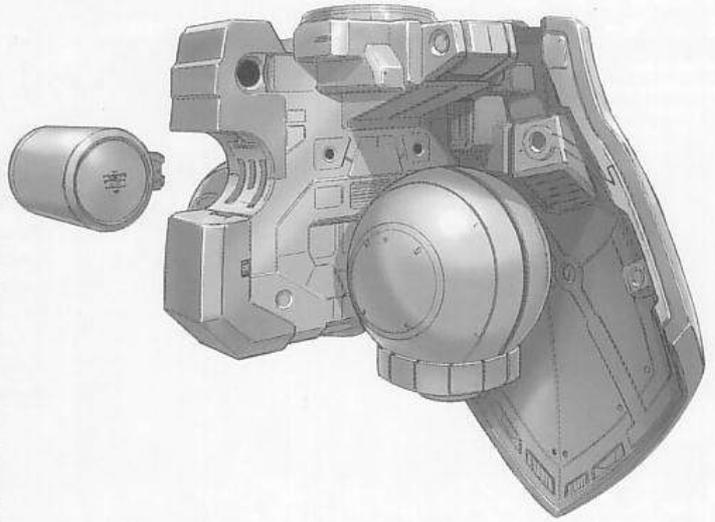


WAIST UNIT

(腰部)

ギャンのウエストユニットには、腰部のターレットと股関節の脚部ジョイント以外の機能も持たされている。それが、流体パルスアクセラレーターである。

このユニットは、メインジェネレーターからパワーサプライヤーケーブルによって分配されている極超音速のエネルギーパルスの余剰を蓄積し、必要に応じて該当するシリンダーやヒンジなどのアクチュエーターに送り出す機能を持つ。これによって、過負荷による反応炉へのバックラッシュを防ぎながら、各アクチュエーターのレスポンスとトルクを向上させているのである。流体パルスのエネルギーは、極超音速を保ったまま円筒形のユニットに蓄積、圧縮されているため、敵機の攻撃による損傷や応力限界を越えて破損した場合など、即座にイジェクト可能となっており、躯体の基礎フレームには支障が出ないようレイアウトされている。

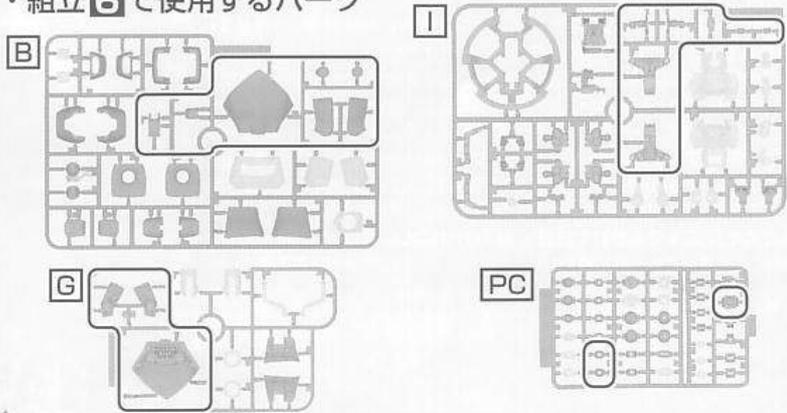


【部品表】 PARTS LIST
 【基本説明】 HOW TO
 【胸部】1 BODY UNIT
 【頭部】2 HEAD UNIT
 【腕部】3,4,5 ARM UNIT
 【腰部】6 WAIST UNIT
 【脚部】7,8,9 LEG UNIT
 【本体の完成】10 FINAL ASSEMBLY
 【武器】11,12 WEAPONS
 【武器の装備】13 WEAPONS EQUIPMENT
 【シール】 SEAL

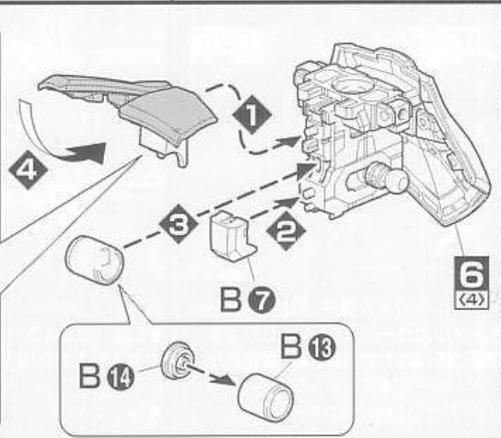
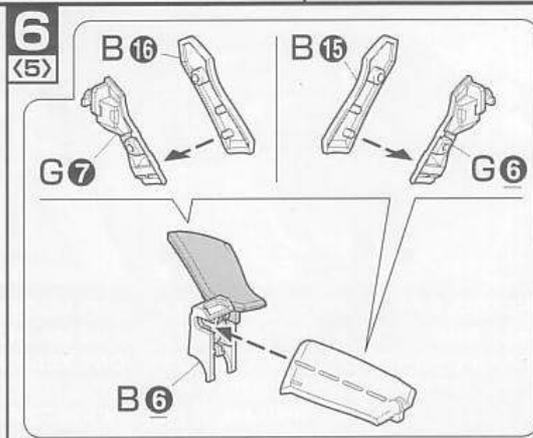
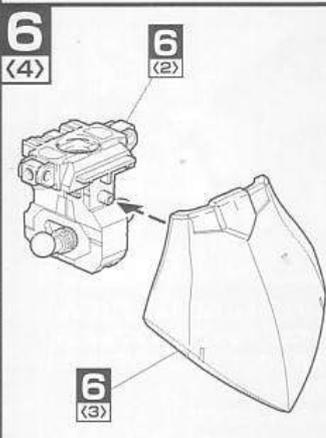
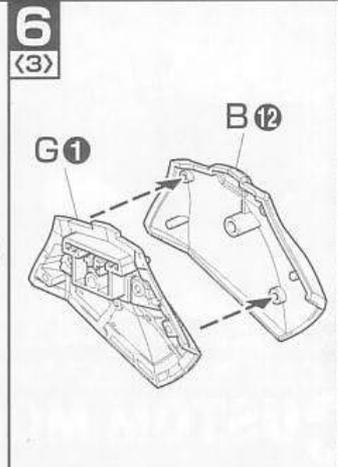
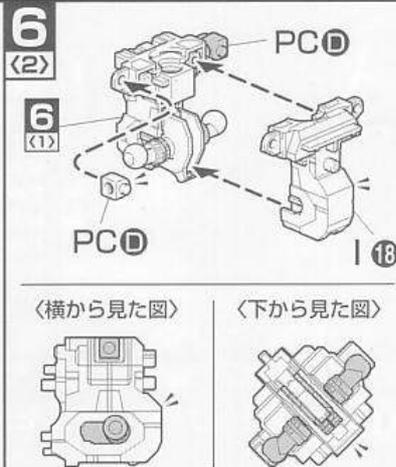
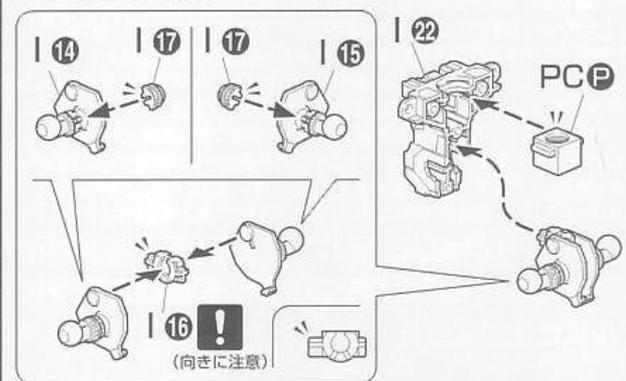
6 WAIST UNIT

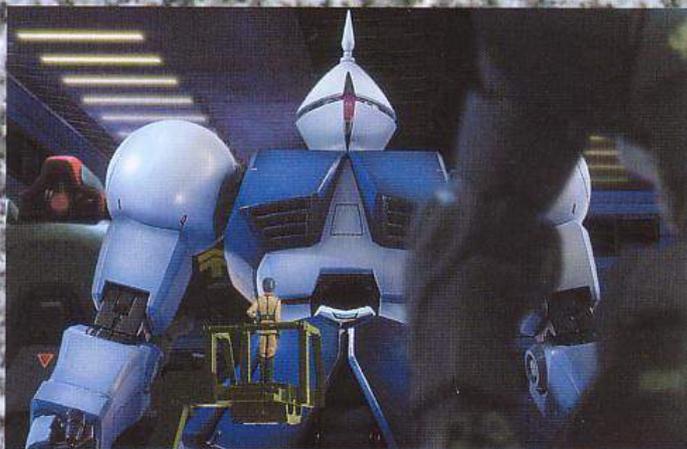


・組立6で使用するパーツ



6 (腰部の組立) WAIST UNIT





DO NOT OBSTRUCT IT!

震と知りつつ、アムロはテキサス・コロニー内部へとガンダムを侵入させる。ちょうどその頃、シャアもまた、ララのテスト結果と新型機ゲルググの受領にテキサス・コロニーを訪れていた。「さて、マクベのお手並みを見せてもらおうか」隔壁の機雷やエントランスの地雷をもっともしいガンダムの挙動に、マクベは舌を巻いていた。「カンがいいのか? それともあの新しいタイプの奴なのか?」焦りを感じ始めたマクベのガンとガンダムの間にシャアの赤いゲルググが割って入る。「赤いMS? ……シャアなのか!」敵の増援にアムロは身構えるが、しかし、マクベはシャアの手助けを拒絶する。「シャアッ、退けい! 今の貴様の任務はガンダムを倒すことではないはずだ」「味方が苦戦しているのを見逃す訳にはいかんのでな」「私なりの戦い方があるからこそガンダムを引き込んだのだ」ここまで言われて援護するいわれはない。よしんば、ガンダムがマクベを倒してしまっても一向に構わない。「任せたよ、マクベ大佐。来るぞ!!」



A MATTER OF HONOR

ソロモン攻略戦は連邦軍の勝利に終わり、ドズル中將麾下の宇宙攻撃軍は事実上壊滅した。ソロモンから脱出した敵艦を掃討する任務に就いたホワイトベースは、暗礁宙域の中にあるテキサス・ゾーンに入った。レジャーと牧畜業を専門としていたこのコロニーは「テキサス」と名付けられ、軍事的にはほとんど重要性を持たなかったため放置されていた。そこに、キシリア配下のマクベが罠を仕掛け、ホワイトベースの到着を待ちかまえていた。副官のウラガンにリック・ドム隊の発進を命じると、マクベは自らガンとココピットへ向かう。「しかし、マクベ大佐自らお出になることはない」「あるのだな」「は?」「ガンは私用に開発して頂いたMSだ。キシリア少将へ男としての面子がある」それを聞いて訝しがるウラガンにマクベは続けた。「それにシャアには例のMSが届いていないという話だ。きつ前木馬とガンダムを仕留めて見せるよ」勇躍、マクベはガンとココピットに滑り込む。



THAT IS GOOD

「フフ、今までのデータで確かめてある」久しぶりの戦闘に高揚しているかのように、マクベはつぶやいていた。「シャアとの小競り合いでビームを使い過ぎたのだよ!」「ガンダムがカタを着けてくれればありがたいとも思ったが、マクベめ、よくやる」遠巻きにガンとガンダムの斬り結ぶ様を眺めつつ、シャアはララを想った。「ララ……見ているな」「大佐はなぜ助けてあげないのかしら? なぜ……」ふと、ララは先刻以来の不思議な思惟に触れた気がした。「もう剣を引けえ!! 卑怯な手しか使えないお前は、すでにパワー負けしている!!」「シャアを囮に乗らせないためにはっ! ガンダムを倒さねばならんのだよ!!」ガンと裂帛の気合いと共に繰り出した切っ先は、しかし、ガンダムを捕らえず、逆に組みつかれたガンはガンダムのビーム・サーベルに背中から焼かれていた。その灼熱のビームは容赦なくココピットをも焦がし始める。「ウ、ウラガン! ああ、あの壺をキシリア様に届けてくれよ、あれは……、いい物だ!!!」果たしてその願いは聞き届けられただろうか? 知る者は居ない……。

CUSTOM MODEL キミだけのカスタムモデルに仕上げよう!!

©創通 エージェンシー・サンライズ

■メカニック表現にチャレンジ!!



フレーム等のメカ部は、独特の金属感をメタルカラー等で表現してみよう。綿棒で軽く磨けば金属のような光沢が。シリンダー等はメッキシルバーを使う事で、異なる質感を表現出来るぞ。

■ダメージ表現にチャレンジ!!



劇中のように、シールドに受けたダメージを表現してみよう。シールドの外装パーツにキズを入れた後、ガンダムマーカークのウェザリングマーカークセット等で質感を表現しよう。

■劇中の名シーンに欠かせないMSたち



ガンとの活躍を彩る様々なMSがMGでラインナップされている。「テキサスの攻防」を君の手で再現しよう。

左 MG MS-09R リック・ドム 価格 4,200円(税5%)
右 MG MS-14S ゲルググ シャア・アズナブル大佐機 'ONE YEAR WAR 0079' COLOR VERSION 価格 3,150円(税5%)

※上記のプラモデルは別売りです。

※写真の完成品は、塗装してあります。 ※写真・イラストと商品とは、多少異なりますのでご了承ください。 ※価格はメーカー希望小売価格です。

PAINTING

※よりリアルに仕上げたいかたは、下の基本色をご覧ください。

※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

●このキットをよりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー等をお使いください。

本体等ライトパープル部の塗装色。
ホワイト(75%) +
コバルトブルー(20%) +
パープル(5%)

胸等ブルー部の塗装色。
インディブルー(45%) +
コバルトブルー(40%) +
ホワイト(10%) +
レッド(5%)

バックパック等グレー部の塗装色。
ニュートラルグレー(80%) +
ホワイト(10%) +
ピンク(5%) +
パープル(5%)

ニードル・ミサイル等ブラウン部の
塗装色。
マホガニー(75%) +
ブラック(15%) +
ホワイト(10%) +

シールド等イエロー部の塗装色。
イエロー(80%) +
ホワイト(15%) +
ブラウン(5%) +
ブラック少量

シールド レッド部の塗装色。
ワインレッド(75%) +
ホワイト(20%) +
ブルー(5%)

コクピットハッチ ライトブルー部の
塗装色。
ホワイト(90%) +
コバルトブルー(5%) +
スカイブルー(5%)

関節等タークグレー部の塗装色。
ニュートラルグレー(80%) +
ブラック(25%) +
パープル(10%) +
レッド(5%)

目 蛍光ピンク部の塗装色。
蛍光ピンク(100%)

ワンポイントステップ スミ入れしてみよう!!

ガンダムマーカー/スミ入れ用(別売り)などを使用して、
ミノの所に線を引くことで、模型が引き締まります。



マ・クベ

軍服、パイロットスーツ
ライトイエロー部の塗装色。
ホワイト(75%) +
サンディイエロー(25%)

レッド部の塗装色。
モンザレッド(100%)

肩裝飾等イエロー部
の塗装色。
オレンジイエロー(70%) +
ホワイト(30%)

ヘルメット バイザー
スカイブルー部の塗装色。
スカイブルー(100%)

ヘルメット等ブラウン部
の塗装色。
ウッドブラウン(85%) +
ホワイト(10%) +
ブラック(5%)

ブーツ等グリーン部の塗装色。
イエローグリーン(45%) +
スカイブルー(25%) +
ホワイト(25%) +
ブラック(5%)

髪の毛 ブルー部の塗装色。
インディブルー(90%) +
ブラック(10%)

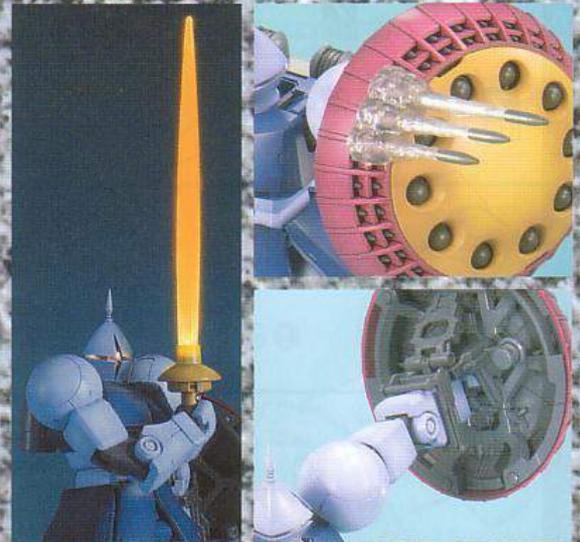
顔 はだ色部の塗装色。
はだ色(100%)



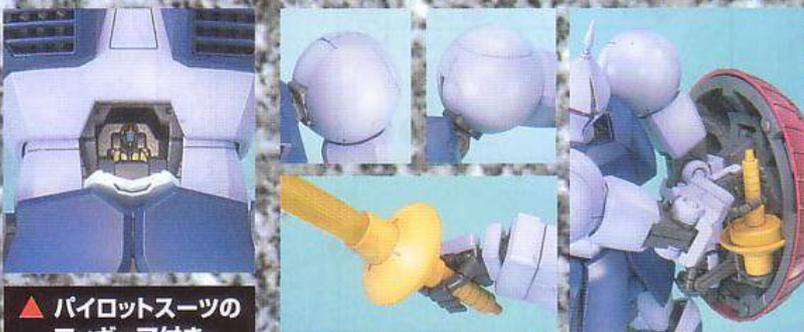
※写真はイメージです。

▲ ジオン系MSらしい胸のパイプ演出や巨大なメインジェネレーター等、機体の内部フレームをリアルに表現。

▲ 股関節の軸が左右独立して前後に可動。つま先の可動と相まって立て膝もキマる!

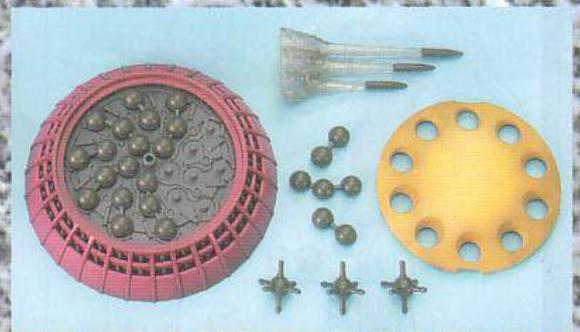


▲ ビーム・サーベルは発光ダイオードとボタン電池(CR1220)(別売り)の内蔵で発光可能。多彩な構えの取れる専用シールド、さらにニードル・ミサイルのエフェクトパーツで戦闘シーンを演出。



▲ パイロットスーツのフィギュア付き。コクピットハッチの開閉ギミックも再現。

▲ 肩関節、手首の大幅な可動に加え、肘、膝の二重関節で大胆なポージングが可能。



▲ 専用シールドは多層構造でニードル・ミサイル、ハイドポンプを立体的に再現。散布状態のハイドポンプが付属。

〔部品表〕
PARTS LIST

〔基本説明〕
HOW TO

〔胸部〕1
BODY UNIT

〔頭部〕2
HEAD UNIT

〔腕部〕3 4 5
ARM UNIT

〔腰部〕6
WAIST UNIT

〔脚部〕7 8 9
LEG UNIT

〔本体の完成〕10
FINAL ASSEMBLY

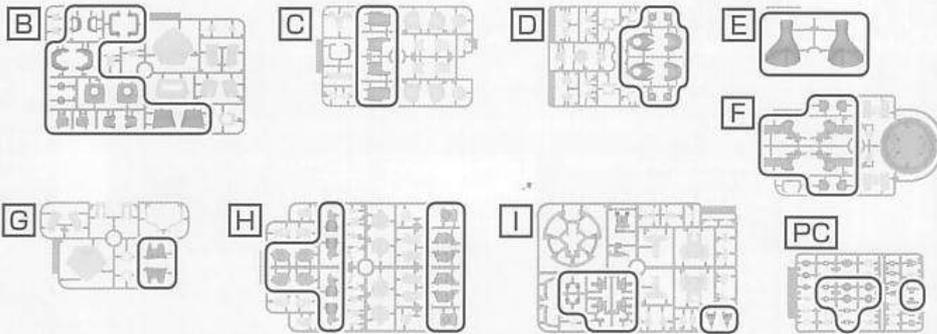
〔武器〕11 12
WEAPONS

〔武器の装備〕13
WEAPONS EQUIPMENT

〔シール〕
SEAL

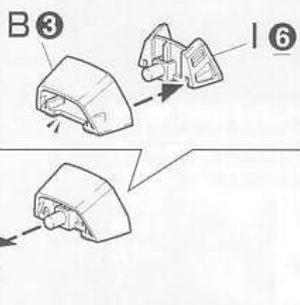
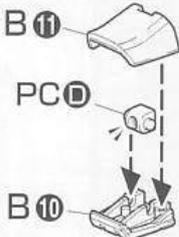
7 8 9 LEG UNIT

・組立 7・8・9 で使用するパーツ

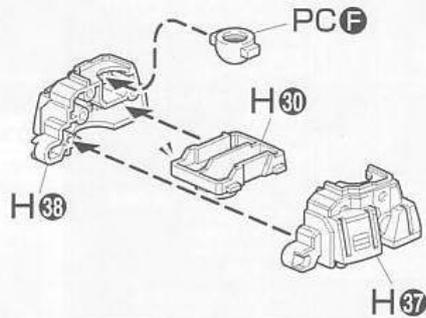


7 〔右脚の組立〕

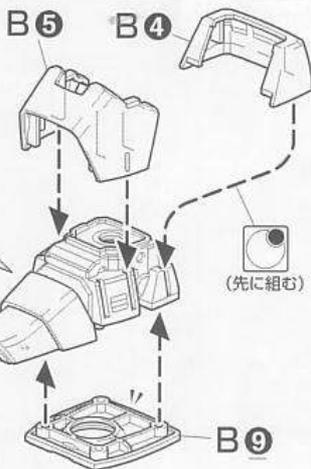
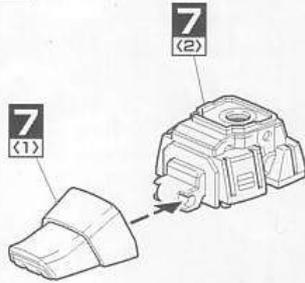
〔1〕 RIGHT LEG



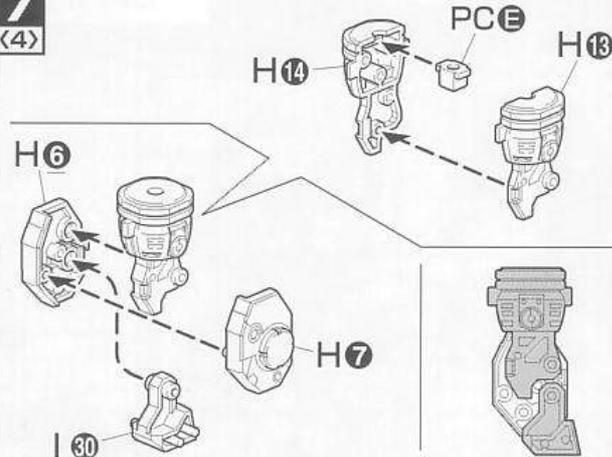
7 〔2〕



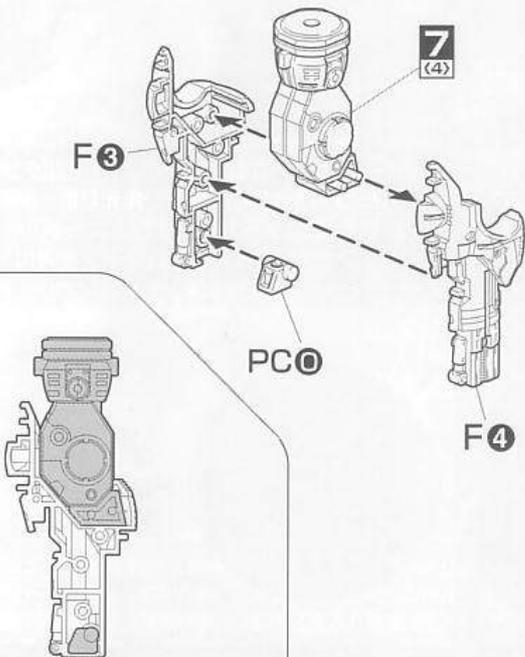
7 〔3〕



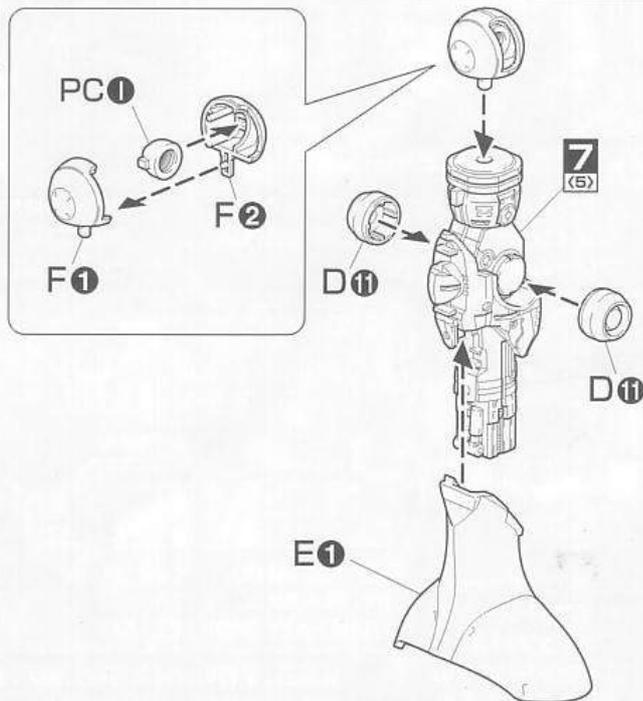
7 〔4〕

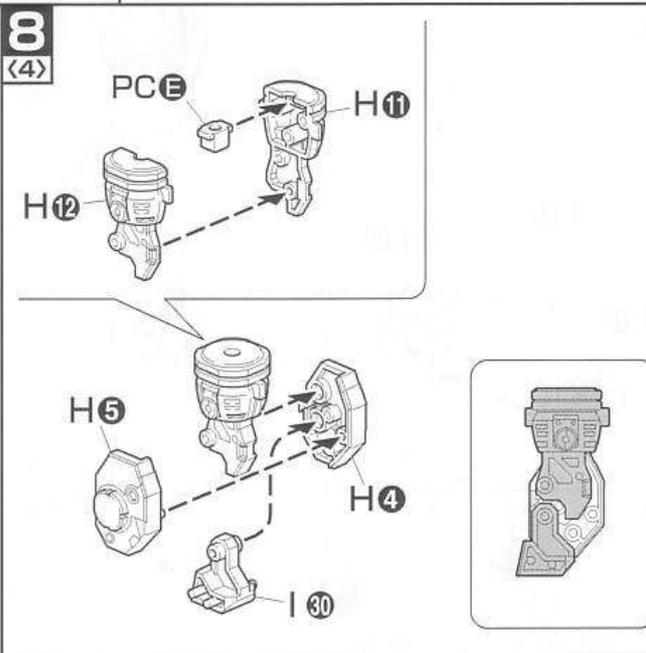
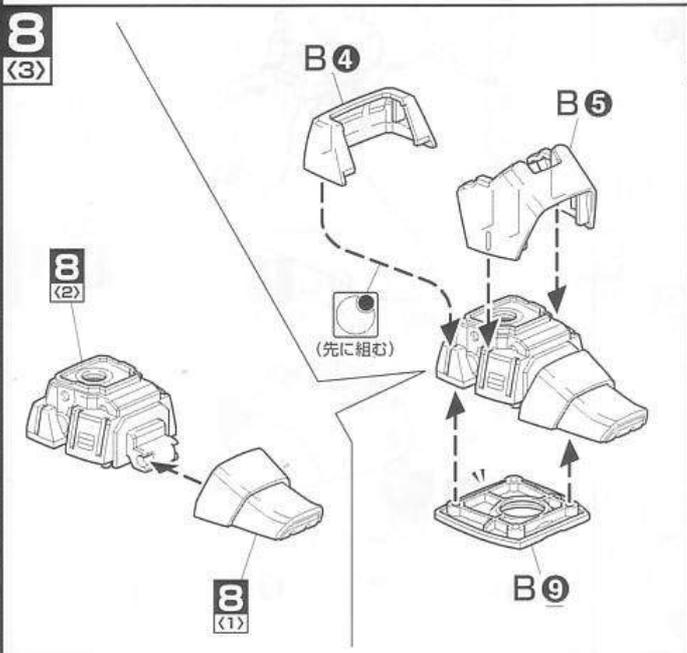
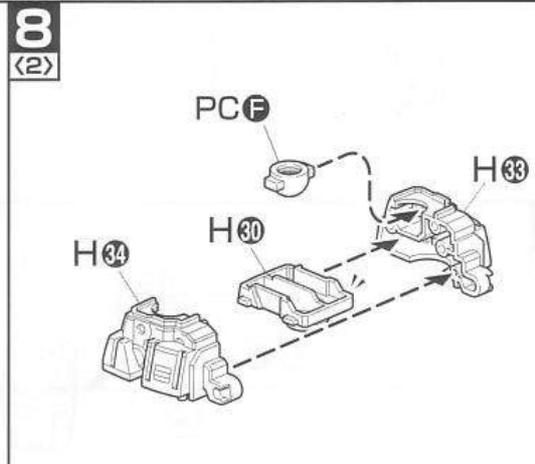
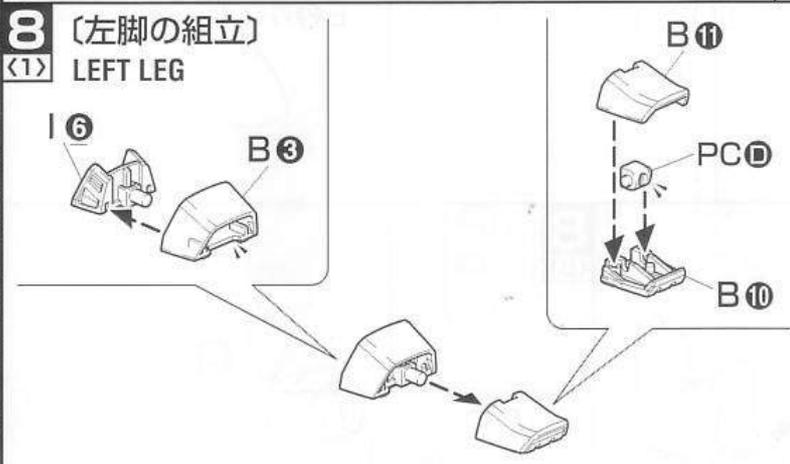
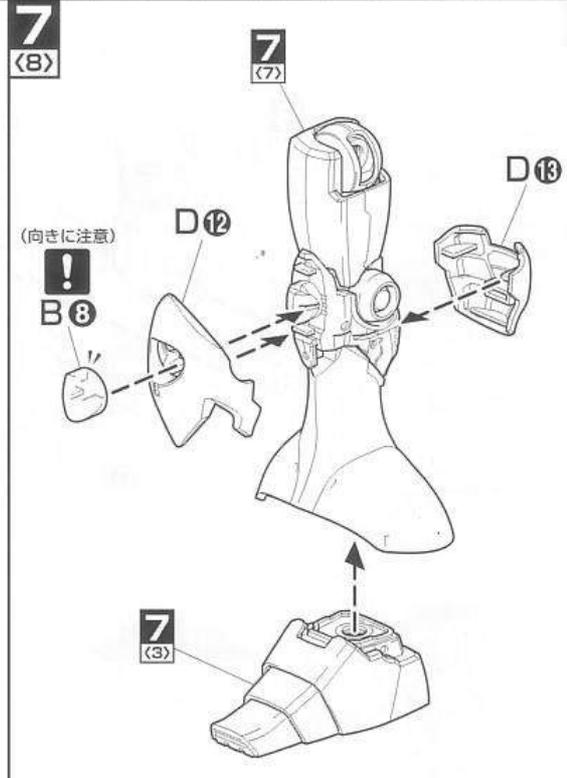
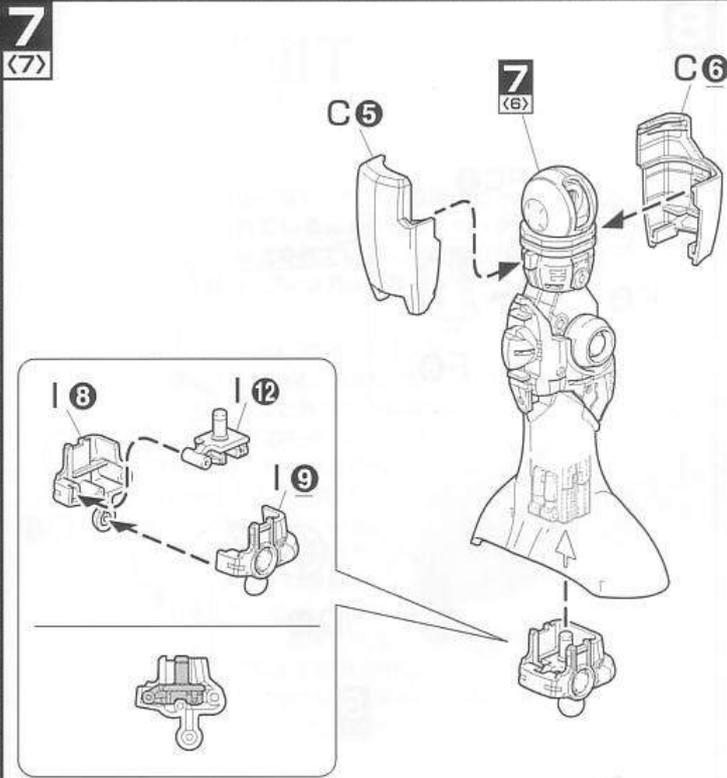


7 〔5〕



7 〔6〕





〔部品表〕 PARTS LIST

〔基本説明〕 HOW TO

〔胸部〕1 BODY UNIT

〔頭部〕2 HEAD UNIT

〔腕部〕3,4,5 ARM UNIT

〔腰部〕6 WAIST UNIT

〔脚部〕7,8 LEG UNIT

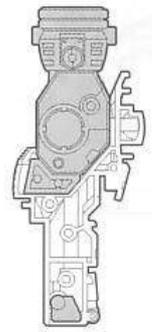
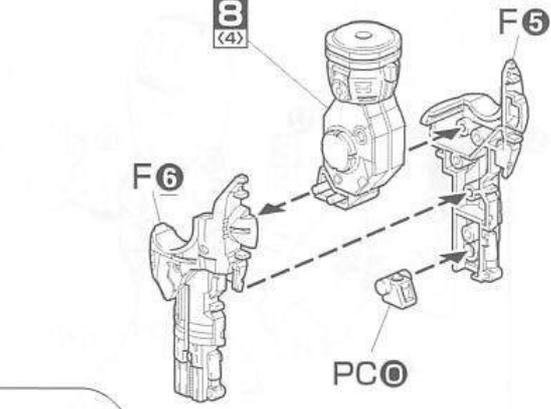
〔本体の完成〕10 FINAL ASSEMBLE

〔武器〕11,12 WEAPONS

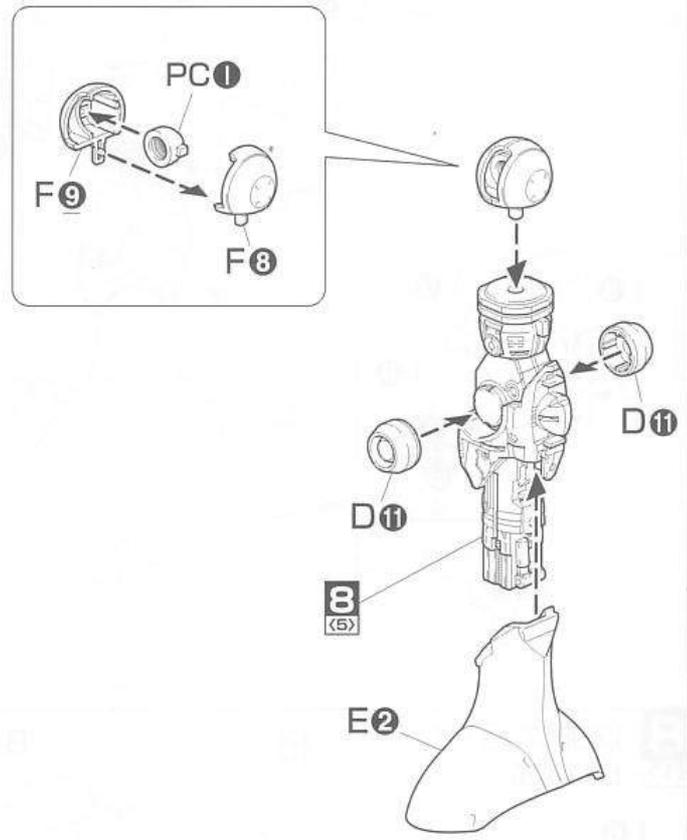
〔武器の装備〕13 WEAPONS EQUIPMENT

〔シール〕 SEAL

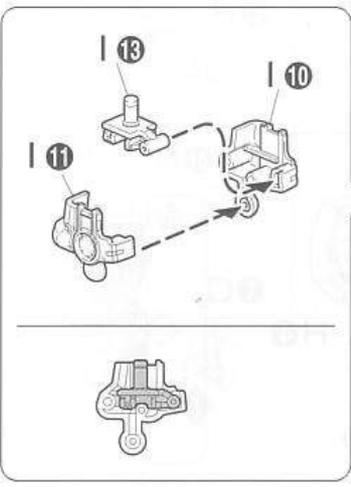
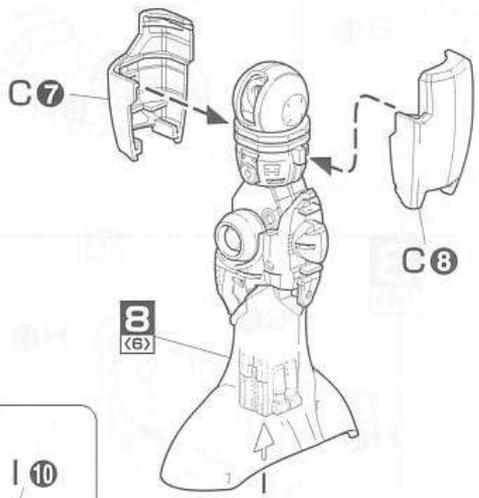
8
(5)



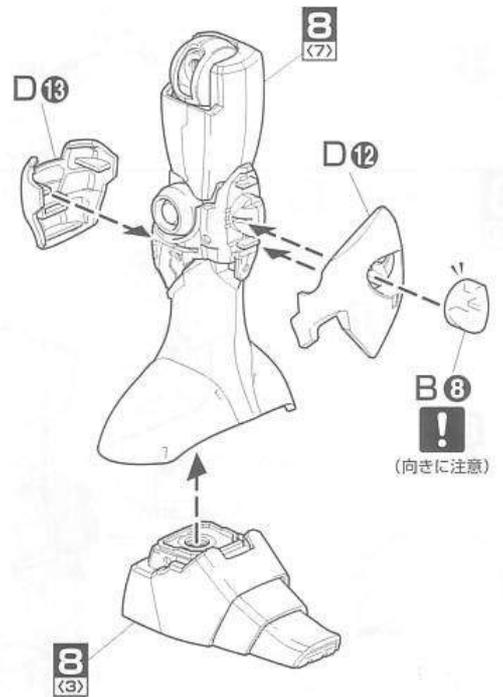
8
(6)



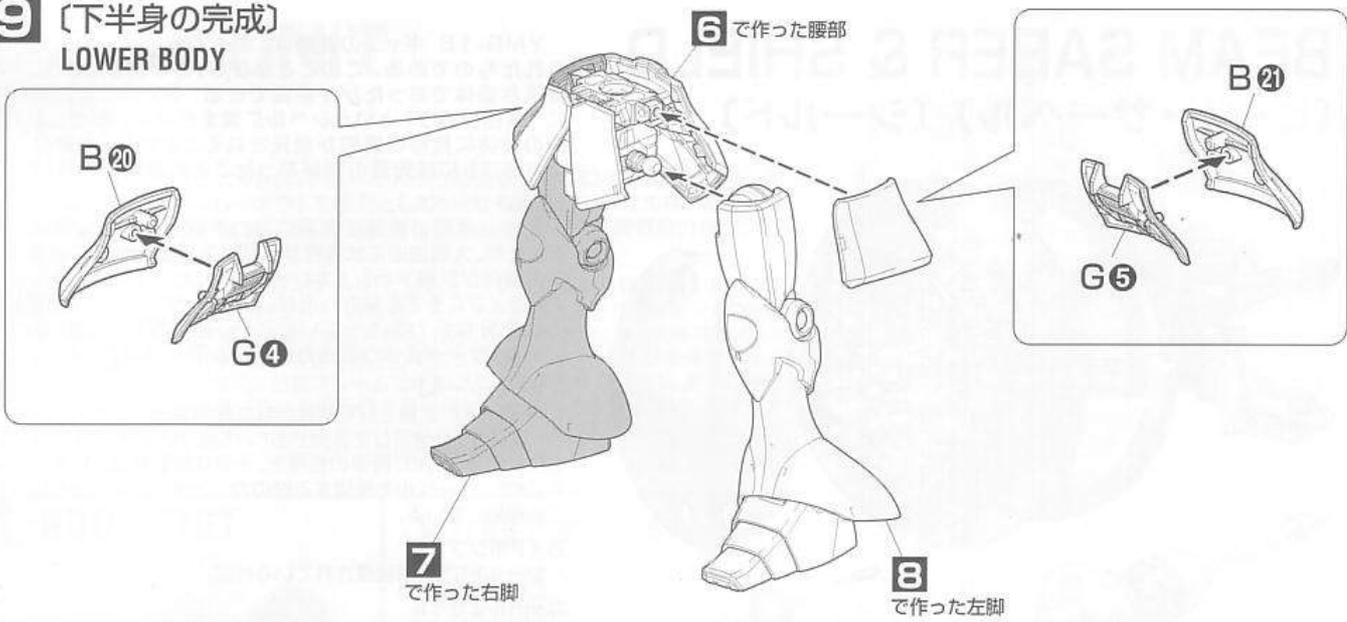
8
(7)



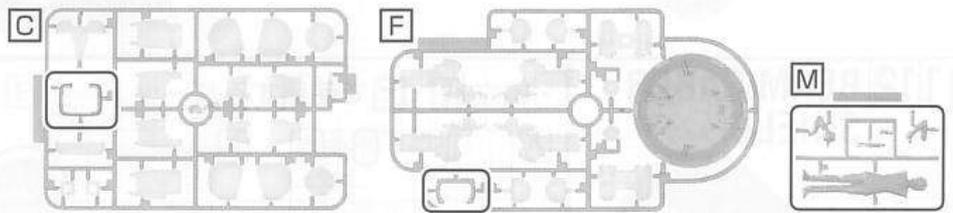
8
(8)



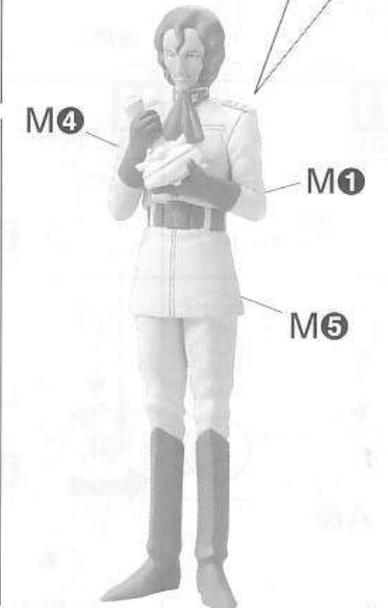
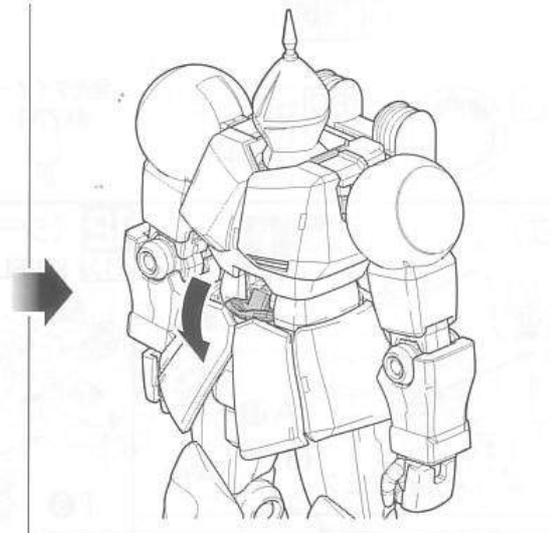
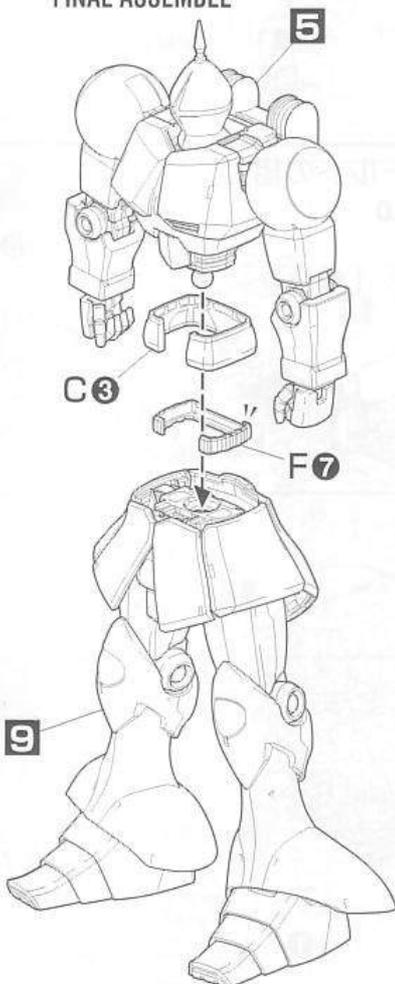
9 [下半身の完成]
LOWER BODY



10 FINAL ASSEMBLY
・組立 10 で使用するパーツ



10 [完成]
FINAL ASSEMBLY

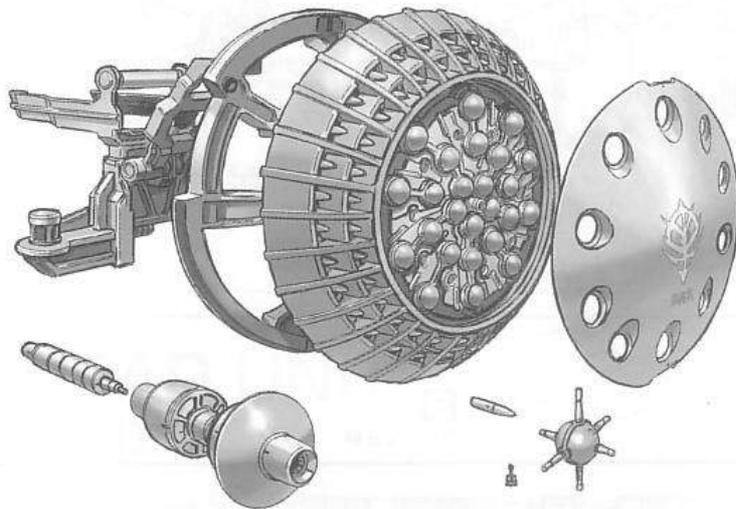


*A20は好みの場所に飾ってください。
*写真の完成品は塗装してあります。
*写真と商品とは、多少異なりますので、ご了承ください。

【部品表】 PARTS LIST
【基本説明】 HOW TO
【胸部】1 BODY UNIT
【頭部】2 HEAD UNIT
【腕部】3,4,5 ARM UNIT
【腰部】6 WAIST UNIT
【脚部】7,8,9 LEG UNIT
【本体の完成】10 FINAL ASSEMBLY
【武器】11,12 WEAPONS
【武器の装備】13 WEAPONS EQUIPMENT
【シール】 SEAL

BEAM SABER & SHIELD

〔ビーム・サーベル〕〔シールド〕



YMS-15 ギャンの武装は、すべて専用にあつえられたものである。このことから、ギャンがいかに特異な機体であったかが検証できる。それは、ただ単に“規格が違う”というレベルに留まらない。ただし、後の機体に同様の武装が散見されることから、本機のコンセプトには先見の明があったことも否定できない。

ビーム・サーベル

ビーム兵器の開発で連邦に後れを取っていた公国軍だったが、大戦後期には優秀なデバイスが開発されている。この機体が装備するジェネレーターは、ビーム・ライフルのドライブこそできなかったが、ビーム・サーベルの運用には十分な余力をもっていたため、連邦製の標準的なビーム・サーベルより高出力のビーム刃を形成できた。

ミサイルシールド

攻防一体の武器として開発された専用装備。基本的には“一騎討ち”を想定した装備であり、広範な防御性能は排除されているものの、機体の性格上、十分な防御装備とも言える。また、サーベルを使用する際のカウンター・ウェイトとしても機能している。

ハイドポンプ

シールドに25基装備されている機雷。

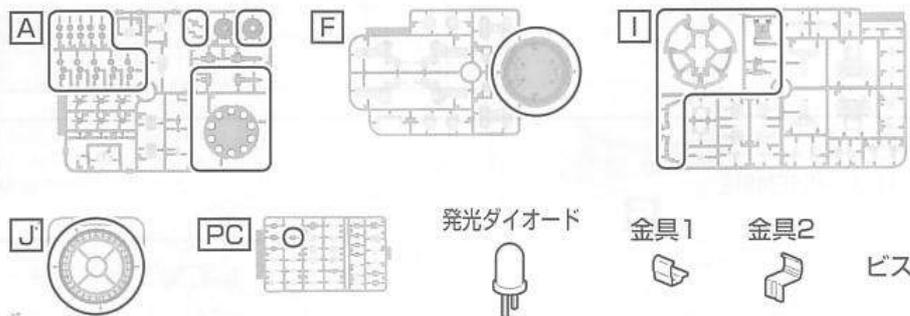
ニードルミサイル

シールドに60基装備されている超小型ミサイル。牽制、威嚇などにも有効で、可動部分を直撃すれば、敵機は戦闘不能に陥る。

1112 BEAM SABER SHIELD



・組立 11・12 で使用するパーツ



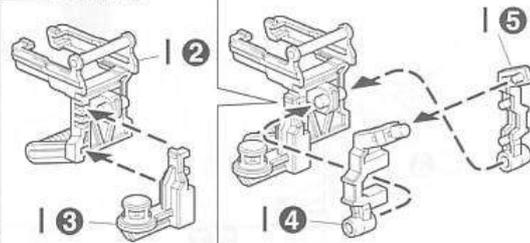
11 【ビーム・サーベルの組立】

11-1 BEAM SABER

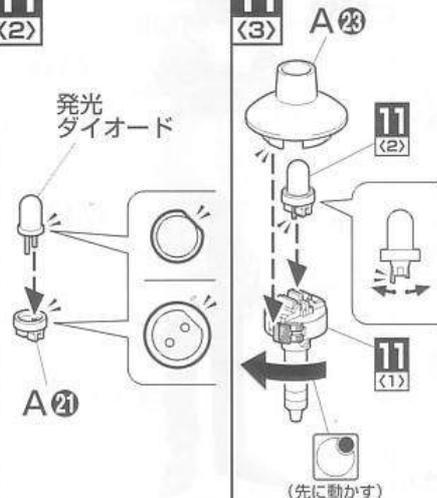


12 【シールドの組立】

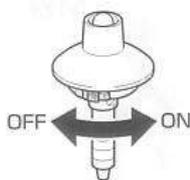
12-1 SHIELD



11-2



点灯テスト

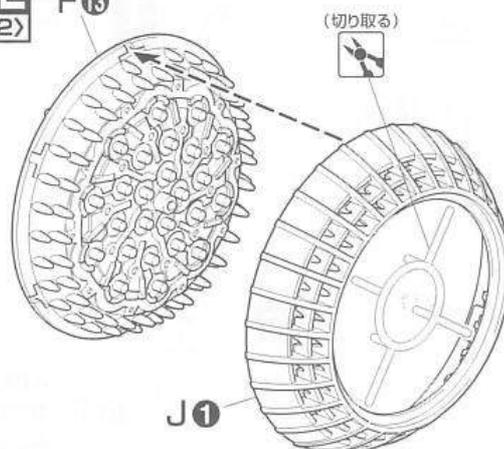


※点灯させない時は、電池をはずします。

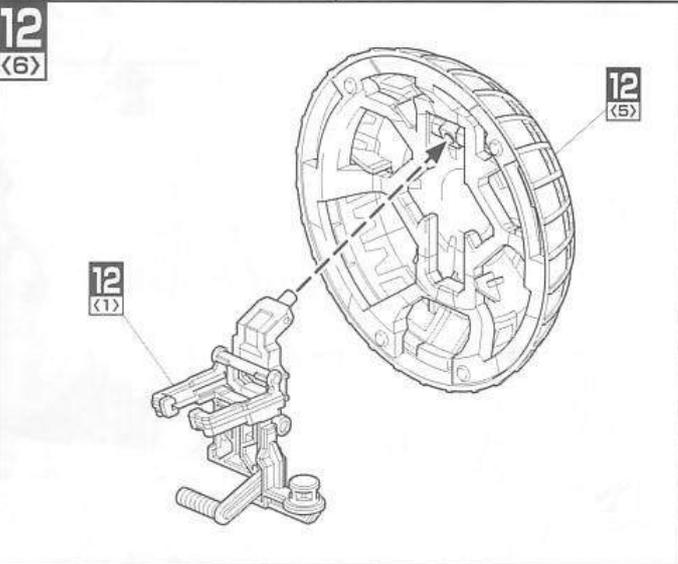
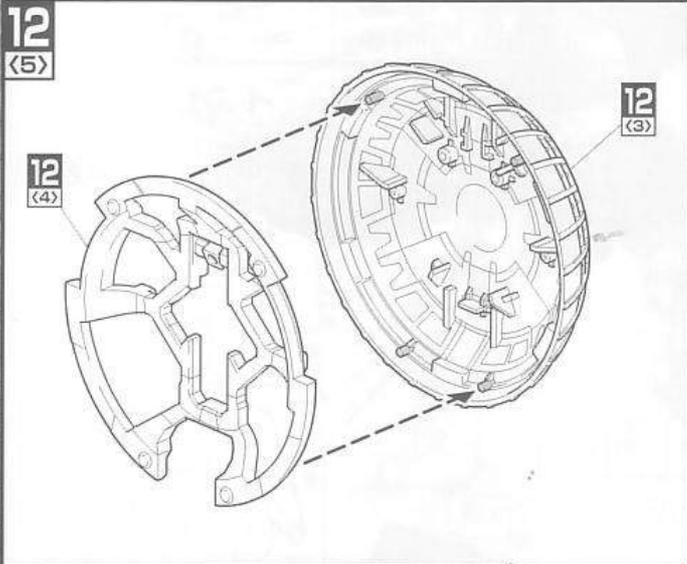
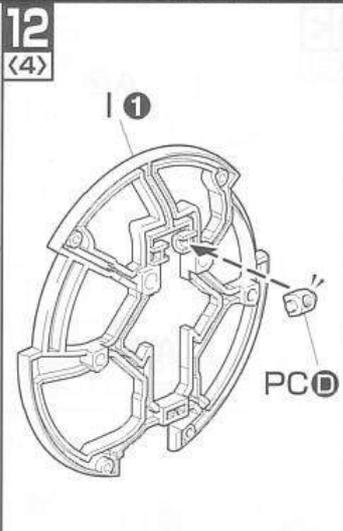
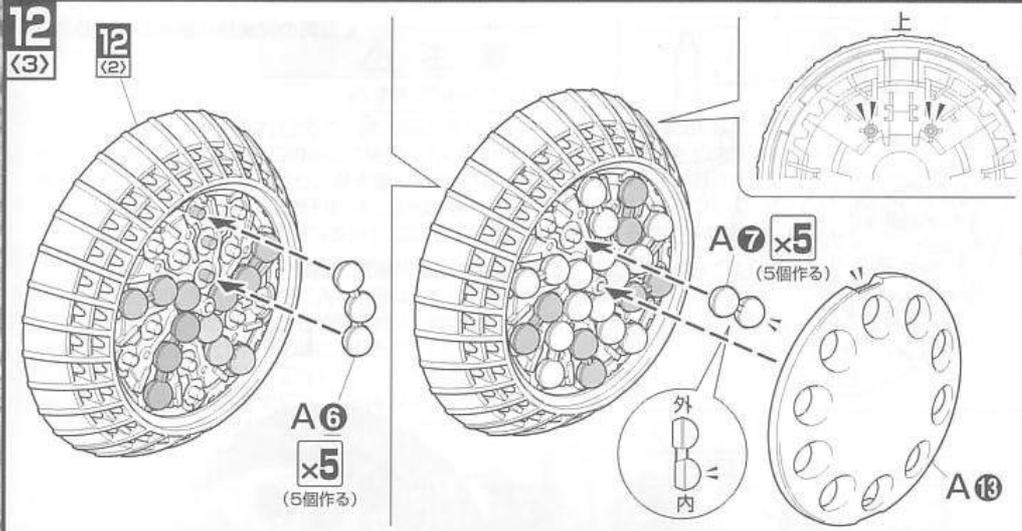
点灯しない場合

1. 電池の+ (プラスマイナス) は合っていますか。
 2. 電池は古くありませんか。
 3. 発光ダイオードの向きは合っていますか。
 4. 接点が離れていませんか。
- 接点が離れている場合、接点がつくように、発光ダイオードの足や電池金具を微調整して点灯するようにします。

12-2

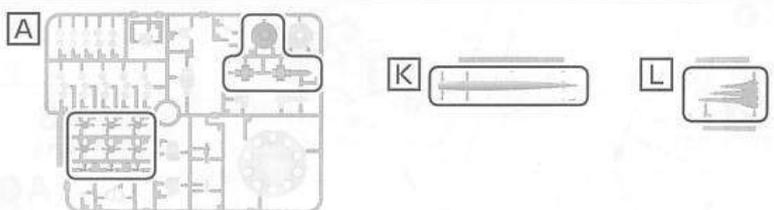


【部品表】 PARTS LIST	【基本説明】 HOW TO	【胸部】 BODY UNIT	【頭部】 HEAD UNIT	【腕部】 ARM UNIT	【腰部】 WAIST UNIT	【脚部】 LEG UNIT	【本体の完成】 FINAL ASSEMBLE	【武器】 WEAPONS	【武器の装備】 WEAPONS EQUIPMENT	【シール】 SEAL
		1	2	3 4 5	6	7 8 9	10	11 12	13	

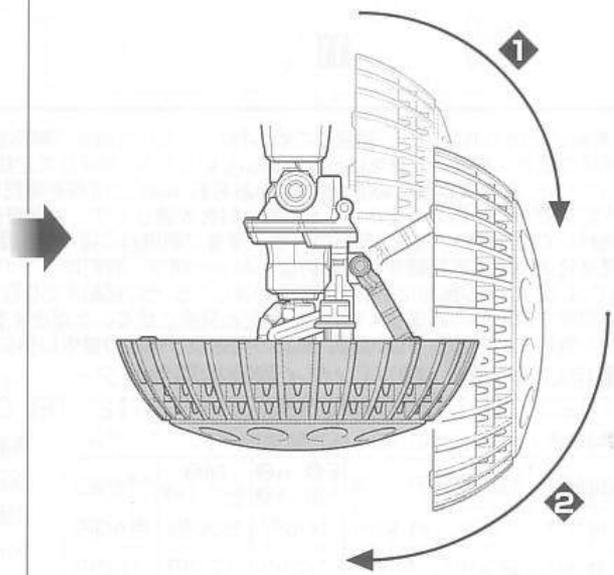
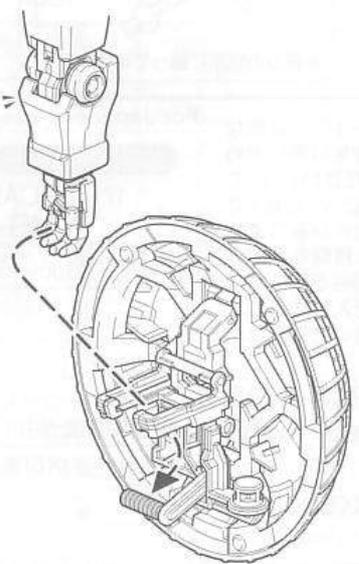


13 WEAPONS EQUIPMENT

・組立 13 で使用するパーツ



13 (武器の装備) 13 WEAPONS EQUIPMENT





Scanned by Dalong.net



ジオン公国軍
試作型白兵戦用モビルスーツ
YMS-15「ギャン」
1/100スケール
マスターグレードモデル

YMS-15 GYAN
PRINCIPALITY OF ZEON PROTOTYPE CLOSE-COMBAT MOBILE SUIT